

第3 令和4年度県事業計画と令和3年度県事業実績

1 ふくしまの復興を担う産業人材の育成

(1) 地域に根ざした産業の職業能力開発の支援

企業の復旧・復興に向けた人材ニーズに即応した学卒者訓練・在職者訓練を実施する。

① 普通職業訓練〔普通課程〕(高卒2年課程／6訓練科／定員240名)

地域産業の発展を支える技能者の育成を図るため、高校卒業者等を対象に2年間の普通職業訓練を実施する。

【令和4年度計画】

校名	訓練期間	訓練科	定員(人)
郡山	2年課程	1	40
会津	2年課程	2	100
浜	2年課程	3	100
合計		6	240

【令和3年度実績】

校名	訓練期間	訓練科	定員(人)	入学者(人)	修了者(人)
郡山	2年課程	1	40	20	15
会津	2年課程	2	100	34	25
浜	2年課程	3	100	37	30
合計		6	240	91	70

◇年度別実施状況〔普通課程〕

【入学者の状況】

(各年度とも入学式現在(原級留置者を除く))

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	
定員(人)	120	120	120	120	120	
応募者(人)〔応募倍率〕	106〔0.88〕	119〔0.99〕	92〔0.77〕	101〔0.84〕	117〔0.98〕	
入学者(人) 〔入学率〕	高卒	85	88	78	101	86
	短大卒以上	0	0	3	0	1
	合計	85〔70.8〕	88〔73.3〕	81〔67.5〕	101〔84.2〕	87〔72.5〕
中退者(人)〔中退率(%)〕	17〔20.0〕	9〔10.2〕	9〔11.1〕	9〔9.9〕	-	

※中退者は各年度1年生の中退者数。

【修了者の状況】

(各年度末現在)

	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
修了者(人)	77	81	69	76	70
就職者	77	80	66	76	70
県内	71	69	57	65	62
県外	6	11	9	11	8
進学	0	1	2	0	0
その他	0	0	1	0	0
未定	0	0	0	0	0
就職率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
県内就職率(%)	92.2	86.3	86.4	85.5	88.6

※就職率は進学、その他を除いたものを分母とする。

② 離職者等再就職訓練事業(長期高度人材育成コース/定員53名)

【令和4年度計画】

<令和4年入学>

校名	訓練期間	訓練科名	募集定員	応募者数	入校者数	進級者数	修了者数	就職者数	就職率
郡山	R4.4~R6.3	介護福祉士養成科	20	9	8	—	—	—	—
郡山	R4.4~R6.3	准看護師養成科	5	13	5	—	—	—	—
会津	R4.4~R6.3	准看護師養成科	10	5	5	—	—	—	—

【令和3年度実績】

<令和3年入学>

校名	訓練期間	訓練科名	募集定員	応募者数	入校者数	進級者数	修了者数	就職者数	就職率
郡山	R3.4~R5.3	介護福祉士養成科	20	9	8	8	—	—	—
郡山	R3.4~R5.3	准看護師養成科	5	3	3	3	—	—	—
会津	R3.4~R5.3	准看護師養成科	10	9	7	7	—	—	—

<令和2年入学>

校名	訓練期間	訓練科名	募集定員	応募者数	入校者数	進級者数	修了者数	就職者数	就職率
郡山	R2.4~R4.3	介護福祉士養成科	20	22	19	19	19	18	94.7
会津	R2.4~R4.3	准看護師養成科	10	6	6	5	5	5	100

(2) 新たな産業の集積に向けた人材の育成

県立テクノアカデミーにおいて、今後県内に集積・雇用が見込まれる再生可能エネルギー関連産業や医療関連産業、ロボット関連産業、航空宇宙関連産業等の新産業分野の動向も見極めながら、訓練科やカリキュラム等の内容について見直しを行い、新たなニーズに対応した教育訓練を実施する。

① 高度職業訓練〔専門課程〕(高卒2年課程／4訓練科／定員180名)

急激な技術革新に対応できる高度な知識・技能を備えた産業人材の育成を図るため高校卒業者等を対象に2年間の高度職業訓練を実施する。

【令和4年度計画】

校名	訓練期間	訓練科	定員(人)
郡山	2年課程	2	100
会津	2年課程	1	40
浜	2年課程	1	40
合計		4	180

【令和3年度実績】

校名	訓練期間	訓練科	定員(人)	入学者(人)	修了者(人)
郡山	2年課程	2	100	46	31
会津	2年課程	1	40	9	6
浜	2年課程	1	40	9	9
合計		4	180	64	46

※入学者は令和3年度入学者。入学者には原級留置者、復学者は含みません。

◇年度別実施状況〔専門課程〕

【入学者の状況】

(各年度とも入学式現在(原級留置者を除く))

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	
定員(人)	90	90	90	90	90	
応募者(人)〔応募倍率〕	74[0.82]	65[0.72]	53[0.59]	72[0.80]	72[0.80]	
入学者(人) 〔入学率〕	高卒	69	60	51	64	56
	短大卒以上	0	0	0	0	2
	合計	69[76.7]	60[66.7]	51[56.7]	64[71.1]	58
中退者(人)〔中退率(%)〕	2[2.9]	6[10.0]	4[7.8]	9[14.1]	-	

※中退者は各年度1年生の中退者数。

【修了者の状況】

(各年度末現在)

	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
修了者(人)	51	70	69	52	46
就職者	51	68	68	52	43
県内	45	56	56	48	34
県外	6	12	12	4	9
進学	0	2	1	0	1
その他	0	0	0	0	0
未定	0	0	0	0	2
就職率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	95.6%
県内就職率(%)	88.2	82.4	82.4	92.3	79.1

※就職率は進学、その他を除いたものを分母とする。

② REALSKYプロジェクト推進事業

ア 背景および目的

近年の航空宇宙関連産業においては、「空飛ぶクルマ」や「大型ドローン」など次世代航空モビリティの開発が行われており、「次世代航空産業」として今後の市場規模の拡大が期待されている。それに伴い、将来的には次世代航空モビリティの開発・製造に携わる多くの技術者が必要となるため、その人材を育成することは急務である。

イ 事業の概要

室屋氏の継続的な協力を得ながら REALSKY プロジェクトの取組をとおして次世代航空産業に関連する技術者育成を図る。また、令和3年9月には次世代航空に関する協議会が発足したところであり、それらの活動や企業とも連携しながら取組を実施する。

ウ 令和4年度の計画

(ア) テクノアカデミーの学生を対象とした人材育成

軽量飛行機製作を通じて、次世代航空産業で必要とされる技術の習得を行う。

(イ) 企業在职者を対象とした人材育成

在职者に向けて、次世代航空産業で必要とされる技術付与のためセミナーを開催する。

(ウ) 若年者を対象とした人材育成

若年者に向けて、次世代航空産業で必要とされる技術付与のため、教材を開発する。

③ テクノアカデミーにおける ZEH 技術者育成事業

ア 背景および目的

住宅の ZEH 化に向けては、「高気密・高断熱化」(建築分野)、「高効率設備導入・再生可能エネルギー導入」(建築設備分野)が必要であるが、特に、「高効率設備導入・再生可能エネルギー導入」に関する人材が不足しており、ZEH 化の技術に対応できる建築設備分野の人材育成が必要である。

イ 事業の概要

ZEH に関する建築設備技術を習得し、実際の施工現場で活躍できる実践的な技術者を育成するため、テクノアカデミーに発電設備や高効率設備等(地中熱ヒートポンプ等)を整備し、学生の職業訓練はもとより、地元企業のスキルアップを図る。

ウ 令和4年度の計画

(ア) ZEH 関連機器整備の実施

蓄電システム、HEMS、省エネ家電等

(イ) ZEH 講義の実施

学生を対象とし、設備構造理解、配線配管施工、故障診断等の講義を実施

(ウ) 職員研修・施設見学の実施

ZEH 関連の職員研修や関連施設の見学を実施

(エ) 企業連携の実施

先端技術の研修会実施（講師：メーカーから招聘）

【対象：テクアカ学生・地元企業】

ZEH 普及に係る営業技術の習得（科取組PR手法・各工務店の営業技術）

④ ふくしま観光復興人材育成事業

ア 背景および目的

コロナ禍で落ち込んだ観光需用の回復、増加を担う企画提案力や、情報発信力を備えた人材の育成及び本県観光の魅力向上と観光業の振興を図る。

イ 事業の概要

テクノアカデミー会津観光プロデュース学科で取り組む「プロデュース」について、地産地消（マイクロ・ツーリズム）を視点に、コロナ禍に対応した観光商品の企画提案能力の強化を図るとともに、Web ページ・動画作成等の取組において、広告価値を高める実践的な教育訓練を行うことで、コロナ禍の観光業を人材育成で支援するとともに、コロナ禍収束後の本県観光が隆盛した際に必要とされる人材の育成を行う。

ウ 令和4年度の計画

(ア) 新たな視点によるフィールドワークの実施、特定地域の観光商品開発技術の強化

- ・浜通り地域の観光（ホープツーリズム）商品開発
- ・アウトドア観光商品開発

(イ) VR コンテンツ作成技術の習得

VR 動画作成（産業観光の開発）

(ウ) HP、SNS 等の魅力ある情報コンテンツ作成

- ・動画を用いたネット通販（地元商品の開発）
- ・ライブ動画配信（オンラインツアー実施）

⑤ 福島イノベーション構想推進産業人材育成・確保事業

ア 背景および目的

福島イノベーション・コースト構想（以下、「イノベ構想」という。）の実現に向けては、構想を担う高度な人材の長期的な教育・育成の基盤を構築することが不可欠であり、浜通り地域等の高等学校や高等教育機関による教育活動や職業能力開発の活性化を図り、イノベ構想関連事業の雇用拡大へつなげる。

イ 事業の概要

イノベ構想に資する人材の育成及び確保を目的として、イノベ構想に関連する県内の企業や高等教育機関、研究機関等と連携し、対象とする高等学校の生徒及びその保護者と教員、並びに大学等の学生を対象として、イノベ構想への関心を喚起するための取組と地元就職を促進するための取組を行う。

ウ 令和4年度の計画

- (ア) イノベ構想に関する理解を深める講座
企業や大学等から講師を招聘し、イノベ構想に関する講演を行う。
- (イ) 大学教授や企業担当者等による校内出前授業
企業や大学等から講師を招聘し、座学や実技等の講座を実施する。
- (ウ) イノベ関連施設及び企業の見学
イノベ構想に関する施設見学やイベント参加を通じて、イノベ構想への関心を高める。
- (エ) イノベ関連企業の見学
イノベ構想に関する企業を見学し、実践的な技術等に触れることで就業意欲を高める。
- (オ) 就職活動前の企業説明会
企業説明会を実施することで、就職率の向上を図る。
- (カ) 保護者を対象とした地元企業の理解を深める講演会
地元企業の理解深化を保護者に対しても行い就職率向上を図る。
- (キ) SNSを活用した企業PR動画作成
社員による会社案内、卒業生からのメッセージを配信し就職率向上を図る。

エ 令和3年度の実績

- (ア) イノベ構想に関する理解を深める講座の開催（6回・363名）
- (イ) 大学教授や企業担当者等による校内出前授業（47回・1,943名）
- (ウ) イノベ関連施設及び企業の見学（22回・743名）
- (エ) イノベ関連企業の見学（31回・1,190名）
- (オ) 就職活動前の企業説明会（1回・138名）
- (カ) 保護者を対象とした地元企業の理解を深める講演会（1回・オンライン）
- (キ) YouTubeによる就職先企業PR（16本）

⑥ ものづくり産業におけるDX人材育成事業

ア 背景および目的

新型コロナウイルス感染症拡大を契機としてデジタル化が急速に進む中、県内生産年齢人口割合の減少傾向やDX人材が不足していることなどから、製造業においてはDXを推進することで生産性向上を図るとともに企業競争力を強化する必要がある。しかし、製造業のDXについては、デジタル技術導入の入り口段階であるノウハウの習得や人材育成が課題となっていることから、企業のDXに向けた理解醸成をはかるとともに、若年層から企業在職者まで一体的なDX人材育成を行うことが急務である。

イ 事業の概要

テクノアカデミーにおける最新機器を活用した訓練やAI・IoT活用に向けたプログラミング技術習得等による若年層のDX人材育成から、県内中小企業（製造業）のDXに向けた理解醸成及び企業内人材育成方針構築支援等による企業在職者のDX人材育成支援まで一体的に取り組むことで、ものづくり産業の振興を図る。

ウ 令和4年度の計画

(ア) DX関連機器整備

流体解析シミュレーション、3D スキャナ、ロボットファクトリー実習システム、ドローン測量システムの導入

(イ) DX関連講義実施

テクノアカデミーにおける学生向けDX関連講義の実施

(ウ) 専門家によるDX人材育成支援

課題の調査分析、DX人材育成方針の作成支援

(エ) オンライン人材育成講習会

DXの理解醸成を図るセミナー等の実施

⑦ 未来を担う創造的人材育成事業

ア 背景および目的

本県には、航空宇宙産業の中核企業とその協力企業が多数立地している。また、航空宇宙産業は世界的に成長が見込まれることから、復興を牽引する重点産業に位置づけられており、更なる産業集積を目指している。

しかし、県内の製造業は深刻な人材不足に直面しており、当該産業への対応が可能な人材育成が急務である。また、継続的な産業集積のためには、若年者への当該産業に関する基礎的ものづくり基盤技術の付与が必要となっている。

イ 事業の概要

県内企業、関係研究機関やテクノアカデミー等が連携しながら、「航空宇宙関連産業」で求められる基礎的技術を習得するための教材を開発して若年者に提供するとともに、航

空宇宙関連をテーマにした3Dデザインコンテストを実施することにより、若年者の「航空宇宙関連産業」に関するものづくり技術の基盤強化を行う。

ウ 令和3年度の実績

(ア) 教材開発

高等学校、テクノアカデミー等を対象とした、座学および実習の教材開発 4件

- ・流体シミュレーションに関する基礎知識と解析の手順
- ・軽量飛行機に関するシミュレーション実習
- ・キットプレーン製作の基礎知識
- ・航空機製作の基礎

(イ) 3Dデザインコンテスト

応募総数 92 点

内訳 小学生部門:12 点、中高生部門 36 点、上級者部門:26 点
プログラミング部門:18 点

最終審査および表彰式 令和4年2月 12 日(土) (リモートで実施)

(ウ) 機器整備

軽量飛行機(2式)

テント(1式)

⑧ ふくしま中小企業等人材育成支援事業

ア 背景および目的

県内では依然として人手不足の状態が続いており、本県の復興を担う人材の確保、育成が大きな課題となっている。県内の雇用情勢は大幅な改善が見込めない状況にある中、社内人材育成の活性化による能力向上を通じて、企業力強化を図る。

イ 事業の概要

(ア) 社内人材育成における専門家支援

県内中小企業等に専門家を派遣し、各企業の人材育成に関する相談、課題調査・分析、企業ニーズに基づいた人材育成計画等の作成、企業ニーズに基づいた研修のマッチング等を伴走型で支援する。

(イ) 研修情報ポータルサイトの管理・運営

県内で開催される国、県、商工関係団体等の職業訓練・研修等の情報を一元化したポータルサイトを管理・運営し、県内企業に情報提供することで企業の人材育成の活性化を図る。

ウ 令和3年度の実績

(ア) 専門家による社内人材育成の伴走型支援(32 社)

(イ) 研修情報ポータルサイト「テクナビふくしま」の運営(アクセス数:8,785 件)

⑨ テクノアカデミーにおけるイノベーション人材等育成事業

ア 背景および目的

イノベーション・コースト構想の推進に資する高い志を持った人材を育成するとともに人的裾野拡大を目指すことを目的とする。

イ 事業の概要

テクノアカデミーの訓練科見直し等を行うことで機能強化を図り、成長産業に位置づけた「ロボット関連産業」、「再生可能エネルギー関連産業」、「医療関連産業」などの各産業分野を対象として行ってきた成長産業等人材育成事業をイノベーション・コースト構想の推進に資する人材育成に重点を置き、初年度では「ロボット関連産業」、「再生可能エネルギー関連産業」を中心とした産業分野へ向けた人材育成を行うとともに、イノベーション・コースト構想を推進する人的裾野拡大のためにテクノアカデミー浜と福島ロボットテストフィールドを会場としたフェアを開催する。

ウ 令和3年度の実績

(ア) ロボット及び再生可能エネルギー関連産業推進人材育成

・ロボット関連産業人材育成

ロボット技術の基本技術の一つである遠隔制御技術を学ぶために、ドローンや協働ロボット等を活用した実習をロボットテストフィールド等で行い、遠隔操作による自動制御技術を習得し、複数のセンサの情報を最適化した遠隔自動制御システムを改良改善できる人材を育成した。

・再生可能エネルギー関連産業人材育成

住宅用太陽光発電及び小水力発電の普及促進を図るため、取り付け技術（設置、配管、電気配線等）を習得し、メンテナンスにも対応できる人材を育成した。

(イ) テクノフェア 2021 の開催

福島イノベーション・コースト構想を推進する人的裾野拡大のため、高校生を中心に、テクノアカデミー3校同時開催で、ロボットやエネルギーに関する体験型のフェアを実施した。

・開催日 : 令和3年10月16日(土)

・来場者数 : 約450名

・YouTubeライブ配信及びアーカイブ視聴数 : 約1,000回

(ウ) 機器整備

制御工学実験装置(31式)、ファンクションジェネレータ(5台)、デジタルマルチメータ(10台)、ドローン、教育用ロボットセット(1式)、デジタルものづくり習得システム(1式)、自動運転技術開発・検証システム(2式)